

Service: Get by LEXSEE®  
Citation: jp-a 2000215288

Select for FOCUS™ or Delivery

11015270 2000215288

COPYRIGHT: 2000, JPO & Japio

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

2000215288

◆ Get Exemplary Drawing  
Access PDF of Official Patent \*

Check for Patent Family Report PDF availability \*

\* Note: A transactional charge will be incurred for downloading an Official Patent or Patent Family Report. Your acceptance of this charge occurs in a later step in your session. The transactional charge for downloading is outside of customer subscriptions; it is not included in any flat rate packages.

August 4, 2000

NON-CONTACT IC CARD AND ITS INDUCTANCE ADJUSTING METHOD

**INVENTOR:** ISHIKAWA TAKAHIRO; KANAZAWA HIRONOBU

**APPL-NO:** 11015270

**FILED-DATE:** January 25, 1999

**ASSIGNEE-AT-ISSUE:** MITSUMI ELECTRIC CO LTD

**PUB-TYPE:** August 4, 2000 - Un-examined patent application (A)

**PUB-COUNTRY:** Japan (JP)

**IPC-MAIN-CL:** G 06K019#77

**IPC ADDL CL:** G 06K019#7

**ENGLISH-ABST:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To make adjustable the inductance even after an antenna coil is formed.

**SOLUTION:** In the non-contact IC card, an electronic circuit part 2 on which at least an IC chip is mounted and an antenna coil 3 connected to the electronic circuit part 2 are formed on a substrate 1. In the antenna coil 3, plural inductance control circuit parts 7 having different lengths are formed in at least one corner part of the inner peripheral side, at least one of inductance control circuit parts 7 is conducted and the remaining inductance control circuit parts 7 are disconnected.

Service: Get by LEXSEE®

Citation: **jp-a 2000215288**

View: **Full**

Date/Time: **Tuesday, April 12, 2005 - 12:18 PM EDT**

---

[About LexisNexis | Terms and Conditions](#)

---

[Copyright © 2005 LexisNexis, a division of Reed Elsevier Inc. All rights reserved.](#)

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-215288

(P2000-215288A)

(43)公開日 平成12年8月4日(2000.8.4)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

G 0 6 K 19/077  
19/07

識別記号

F I

G 0 6 K 19/00

マークド(参考)

K 5 B 0 3 5  
H

審査請求 未請求 請求項の数 5 O.L (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平11-15270

(22)出願日

平成11年1月25日(1999.1.25)

(71)出願人 000006220

ミツミ電機株式会社

東京都調布市国領町8丁目8番地2

(72)発明者 石川 貴啓

茨城県水戸市元吉田町1297番地 ミツミニ  
ューテク株式会社内

(72)発明者 金沢 宏信

茨城県水戸市元吉田町1297番地 ミツミニ  
ューテク株式会社内

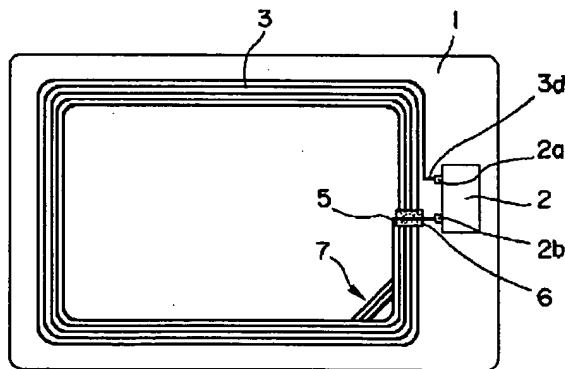
Fターム(参考) 5B035 AA00 AA04 AA11 BA05 BB09  
CA01 CA08 CA11 CA23

(54)【発明の名称】 非接触ICカード及びそのインダクタンス調整方法

(57)【要約】

【課題】 アンテナコイル形成した後にもそのインダクタンスを調節することを可能とする。

【解決手段】 非接触ICカードは、少なくともICチップが実装された電子回路部とこの電子回路部に接続されたアンテナコイルとが基材上に形成されてなる非接触ICカードであって、上記アンテナコイルは、内周側の少なくとも1つのコーナー部に異なる長さを有する複数のインダクタンス調節用回路部が形成され、これらインダクタンス調節用回路部のうち1つを導通させるとともに残りのインダクタンス調節用回路部を断線させることにより形成する。



### 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも ICチップが実装された電子回路部とこの電子回路部に接続されたアンテナコイルとが基材上に形成されてなる非接触 ICカードであって、上記アンテナコイルは、内周側の少なくとも 1 つのコーナー部に異なる長さを有する複数のインダクタンス調節用回路部が形成され、これらインダクタンス調節用回路部のうち 1 つを導通させるとともに残りのインダクタンス調節用回路部を断線させることにより形成されたことを特徴とする非接触 ICカード。

【請求項 2】 上記複数のインダクタンス調節用回路部は、それぞれ異なる幅を有することを特徴とする請求項 1 記載の非接触 ICカード。

【請求項 3】 上記複数のインダクタンス調節用回路部のうち所定のもの以外は、パンチ孔が形成されることにより断線させたことを特徴とする請求項 1 記載の非接触 ICカード。

【請求項 4】 少なくとも ICチップが実装された電子回路部とこの電子回路部に接続されたアンテナコイルとが基材上に形成されてなる非接触 ICカードであって、上記アンテナコイルのインダクタンスを調節するに際して、

上記アンテナコイルの内周側の少なくとも 1 つのコーナー部に、異なる長さを有する複数のインダクタンス調節用回路部を形成し、

これらインダクタンス調節用回路部のうち 1 つを導通させるとともに残りのインダクタンス調節用回路部を断線させることを特徴とする非接触 ICカードのインダクタンス調整方法。

【請求項 5】 上記複数のインダクタンス調節用回路部は、それぞれ異なる幅を有することを特徴とする請求項 4 記載の非接触 ICカードのインダクタンス調製方法。

### 【発明の詳細な説明】

#### 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、少なくとも ICチップが実装された電子回路部とこの電子回路部に接続されたアンテナコイルとが基材上に形成されてなる非接触 ICカード及びそのインダクタンス調整方法に関する。

#### 【0002】

【従来の技術】 従来より、ICチップが実装された ICカードとしては、端末装置との間での情報の授受を非接触で行う、いわゆる非接触 ICカードが注目されてる。この非接触 ICカードは、端末装置と非接触の状態で情報授受するため、ICチップの端子部分等の汚染や損傷といった不都合を回避することができ、その需要が急速に高まっている。

【0003】 具体的に、この非接触 ICカードでは、端末装置との情報の授受を電磁波を媒体としている。すなわち、この非接触 ICカードでは、情報を電磁波に重複し、端末装置との間で情報の授受を行っている。このた

め、この非接触 ICカードには、電磁波を受信するためのアンテナコイルが形成されている。

【0004】 このような従来の非接触 ICカードは、図 4 に示すように、いわゆる銅張積層板を構成する銅箔をコイル形状にエッチングしてなるアンテナコイル 100 と、このアンテナコイル 100 の内周側端部 100a と外周側端部 100b とに接続された電子回路部 101 を有するような構成とされる。また、この非接触 ICカードにおいて、電子回路部 101 は、アンテナコイル 100 の外周側のコイルが形成されていない領域に実装されている。

【0005】 このとき、従来の非接触 ICカードでは、アンテナコイル 100 を横切るように内周側端部 100a から引出導線 102 を形成し、この引出導線 102 を電子回路部 101 に接続していた。したがって、この非接触 ICカードでは、この引出導線 102 とアンテナコイル 100 との間が短絡しないように、アンテナコイル 100 の所定の領域に絶縁層 103 を形成し、この絶縁層 103 上に引出導線 102 を形成していた。

【0006】 このように構成された従来の ICカードでは、外部に配された端末装置と電子回路部 101 との間で、電磁波に重複された情報を授受することができる。このとき、この非接触 ICカードでは、情報が重複された電磁波をアンテナコイル 100 を介して受信及び送信している。

【0007】 具体的に、アンテナコイル 100 には、情報が重複された電磁波が印加されると、情報に応じた電流が発生することとなる。これにより非接触 ICカードでは、電子回路部 101 に情報が書き込まれることとなる。また、非接触 ICカードでは、情報を送信する際に、電子回路部 101 に内蔵された電源から、情報に応じた電流が供給される。これにより、アンテナコイル 100 には、所定の電流が流れることとなり、情報が重複された電磁波が発生することとなる。

#### 【0008】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、上述したような非接触 ICカードにおいて、アンテナコイルのインダクタンスは、コイル形状や導体の抵抗によって決定される。この非接触 ICカードでは、上述したように、銅箔をエッチングすることによりアンテナコイルを形成しているため、一旦、アンテナコイルを形成してしまうと、そのインダクタンスを調節することはできないといった問題があった。。

【0009】 そこで、本発明は、上述したような実状に鑑みてなされたものであり、アンテナコイルを形成した後にもそのインダクタンスを調節することが可能である非接触 ICカード及びインダクタンスの調整方法の提供を目的とする。

#### 【0010】

【課題を解決するための手段】 上述した問題点を解決し

た本発明に係る非接触ICカードは、少なくともICチップが実装された電子回路部とこの電子回路部に接続されたアンテナコイルとが基材上に形成されてなる非接触ICカードであって、上記アンテナコイルは、内周側の少なくとも1つのコーナー部に異なる長さを有する複数のインダクタンス調節用回路部が形成され、これらインダクタンス調節用回路部のうち1つを導通させるとともに残りのインダクタンス調節用回路部を断線させることにより形成されたことを特徴とするものである。

【0011】以上のように構成された本発明に係る非接触ICカードは、異なる長さを有する複数のインダクタンス調節用回路部のうち、所望の長さを有するもの以外を断線させてなる。このため、この非接触ICカードにおいては、アンテナコイル全体としての長さを調節することができ、アンテナコイルのインダクタンスが所望の値を有することとなる。

【0012】また、本発明に係る非接触カードのインダクタンス調整方法は、少なくともICチップが実装された電子回路部とこの電子回路部に接続されたアンテナコイルとが基材上に形成されてなる非接触ICカードであって、上記アンテナコイルのインダクタンスを調節するに際して、上記アンテナコイルの内周側少なくとも1つのコーナー部に、異なる長さを有する複数のインダクタンス調節用回路部を形成し、これらインダクタンス調節用回路部のうち1つを導通させるとともに残りのインダクタンス調節用回路部を断線させることを特徴とするものである。

【0013】以上のように構成された非接触ICカードのインダクタンス調整方法では、異なる長さを有する複数のインダクタンス調節用回路部のうち、所望の幅を有するもの以外を断線させる。これにより、本手法によれば、アンテナコイルを形成した後、アンテナコイルのインダクタンスを調節することができる。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る非接触ICカードの好ましい実施の形態について図面を参照しながら詳細に説明する。

【0015】本実施の形態に示す非接触ICカードは、図1及び図2に示すように、略矩形に形成された基材1上に配設された電子回路部2と、基材1上に形成されるとともに電子回路部2と電気的に接続され、情報信号の授受を行うアンテナコイル3とを備えている。

【0016】この非接触ICカードでは、略コイル状に形成されたアンテナコイル3の外周側の端部3aが電子回路部2の一方の端子2aと接続される。また、アンテナコイル3は、屈曲部5で外周側に向かって屈曲され、この屈曲部5から電子回路部2の他方の端子2bに向かって導出され、他方の端子2bと接続されている。このとき、非接触ICカードでは、屈曲部5と他方の端子2bとの間に位置するアンテナコイル3上に絶縁膜6が配

設されている。

【0017】このため、屈曲部5及び他方の端子2bの間に形成されたアンテナコイル3と屈曲部5から電子回路部2の他方の端子2bに向かって導出されたアンテナコイル3とが短絡するようなことが防止される。

【0018】また、この非接触ICカードにおいて、アンテナコイル3は、ポリイミド樹脂等からなる基板と銅箔とが積層されてなる銅張積層板上に、所定の形状でレジストマスクを形成し、その後、このレジストマスクを用いて銅箔をエッチングすることにより形成される。

【0019】特に、この非接触ICカードにおいて、アンテナコイル3は、基材1の外周形状に沿って略矩形状に複数巻回するように形成されている。また、このアンテナコイル3には、その内周側に形成されたコーナー部に異なる幅及び異なる長さを有する複数のインダクタンス調節用回路部7が形成されている。

【0020】このインダクタンス調節用回路部7は、図3に示すように、第1の回路8、第2の回路9、第3の回路10及び第4の回路11がそれぞれ異なる長さ及び異なる幅を有するように形成されてなる。そして、この非接触ICカードでは、アンテナコイル3が所望のインダクタンスとなるように、第1の回路8、第2の回路9、第3の回路10及び第4の回路11のうち1つを導通させ、残りの3つを断線させる。具体的には、図3中波線で囲む領域のうち3つに、レーザカット等の手法によりパンチ孔を形成することにより断線させる。

【0021】したがって、この非接触ICカードでは、第1の回路8、第2の回路9、第3の回路10及び第4の回路11パンチ孔が形成されないものが導通することとなり、アンテナコイル3を構成することとなる。

【0022】以上のように構成された非接触ICカードにおいては、第1の回路8、第2の回路9、第3の回路10及び第4の回路11のうち導通させるものを適宜選択することによって、アンテナコイル3のインダクタンスを調節することができる。すなわち、これら第1の回路8、第2の回路9、第3の回路10及び第4の回路11の幅及び長さがそれぞれ異なるため、導通させる回路を適宜選択することによって、アンテナコイル3のインダクタンスを所望の値にすることができます。

【0023】このように、上述した非接触ICカードによれば、銅張積層板の銅箔をエッチングしてアンテナコイル3を形成した後に、当該アンテナコイル3のインダクタンスを調整することができる。このため、この非接触ICカードは、所望のインダクタンスを有し、安定的に作動することができる。

【0024】また、この非接触ICカードによれば、例えば、メッキ等の手法によりアンテナコイル3を形成して、パターンの厚みにばらつきがあるような場合であっても、このばらつきを予め把握し、パターン形状を調節することで、インダクタンスのばらつきを抑えることが

できる。さらに、この非接触 IC カードによれば、インダクタンスのばらつきが発生した場合でも、パターンを形成し直すといった工程をなくすことができ、生産性に優れたものとなる。

【0025】また、上述した非接触 IC カードでは、インダクタンス調節用回路部 7 が異なる幅及び異なる長さを有するように形成されていたが、本発明は、このような構成に限定されるものではない。すなわち、本発明に係る非接触 IC カードは、単に、異なる長さ或いは異なる幅を有するインダクタンス調節用回路部を備えるような構成で有ればよい。すなわち、インダクタンス調節用回路部は、全て同じ幅を有し、且つ、異なる長さを有するような複数の回路を備えていても良い。

#### 【0026】

【発明の効果】以上、詳細に説明したように、本発明に係る非接触 IC カードは、異なる長さを有する複数のインダクタンス調節用回路部が形成されている。このため、非接触 IC カードにおいて、アンテナコイルは、所望のインダクタンスを有するものとなる。

【0027】また、本発明に係る非接触 IC カードのインダクタンス調整方法によれば、異なる長さを有する複数のインダクタンス調節用回路部を用いて、アンテナコイルのインダクタンスを調整している。このため、この手法によれば、インダクタンスのばらつきを抑制するため、アンテナコイルを形成し直すようなことがなく、確実にインダクタンスを調整することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明に係る非接触 IC カードの一例を示す平面図である。

【図 2】非接触 IC カードの斜視図である。

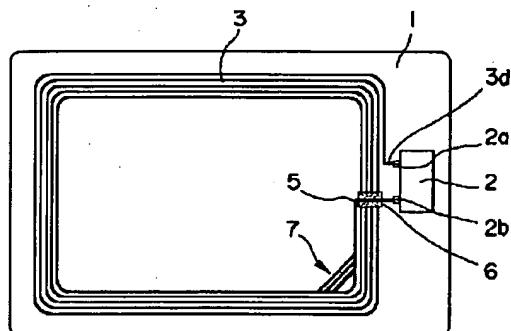
【図 3】アンテナコイルの内周側のコーナー部を拡大して示す要部平面図である。

【図 4】従来の非接触 IC カードの平面図である。

#### 【符号の説明】

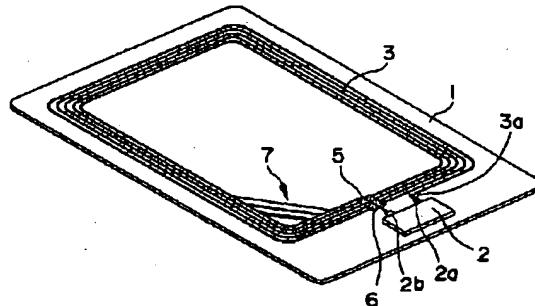
1	基材、
2	電子回路部、
3	アンテナコイル、
7	インダクタンス調節用回路部

【図 1】



【図 4】

【図 2】



【図 3】

